

#### 第4回 臨床研究部会議事録

日時：2011年1月22日（土）17時00分～18時00分

場所：麻布大学 8403号会議室

出席者（順不同）：小林哲也、南毅生、辻本元、三宅龍二、松村精、鷺塚章、敬称略（合計6名）

委任者（順不同）：高橋雅、入江充洋、井関敦公、敬称略（合計3名）

議長：小林哲也（臨床研究部会 部会長）

書記：鷺塚章

下記のとおりご報告申し上げます。

#### 1. 審議事項

(ア) 臨床研究部会から評議会に提出した内容のフィードバックを希望します。

- ① 乳がんの前向き研究を引き継ぐ具体的な方法について
  1. 「犬と猫の乳がんに対する化学療法の効果」の研究を推進すること。
  2. 事務局を臨床研究部会が引き継ぐことを本会で承認頂くこと。
  3. ホームページおよび学会誌にて乳がんの臨床研究の再告知の依頼、特にコントロール群も必要であることを強調すること。
  4. 該当症例の登録受付は全部会員が担当（9人）であること。
  5. 部会員の名簿を学会誌に公開。ホームページは迷惑メール予防のため避けること。
  6. ホームページ上で現在の症例集積状態などを可能な限りリアルタイムで公示してもらうこと（下記参照）。
  7. 協和発酵からドキシソルビシンを提供してもらえないかを南先生が交渉中。
- ② 臨床研究部会員の臨床研究テーマについて
  1. 臨床研究に対する意識向上のため、部会員が少なくとも1回は臨床研究を企画・実践する。
  2. その際の研究デザイン、データのまとめ方、統計学的解析に関しては、松島先生のお力を借りながら小林が手伝える。
- ③ 日本獣医がん学会内での臨床研究発表会の開催について
  1. 夏の日本獣医がん学会で4題程度の臨床研究を発表可能な枠をリクエストする。

(イ) (ア) ②の具体的研究テーマについて検討した

- ① 無治療のリンパ腫症例の予後について
- ② 悪液質のマーカー
- ③ 長期生存（2年以上）したリンパ腫症例群の共通点について
- ④ 経過観察にて消失した組織球腫について
- ⑤ 去勢手術のみで消失した肛門周囲腺腫について

#### 2. その他：特になし

#### 3. 次回会議開催予定

(ア) 日時：2011年7月、時間および場所は未定。

(イ) 出席予定者：日本獣医がん学会臨床研究部会部会員